

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	7		国で定められた基準以上のスペースがあります。 また、療育と余暇活動の部屋を分けており、学習や集団活動にも落ち着いて取り組めるよう配慮しています。	
	2	7		国に定められた以上の人員配置で対応しており、全職員が有資格者です。	
	3	4	3	室内は、児童にわかりやすい構造で対応しております。 現在バリアフリーを必要とする児童はいませんが、段差などがあるため、児童が移動する際には職員と一緒に行動し、安全に配慮しています。	当事業所は戸建ての建物であり、バリアフリーは難しいですが、今後も適切な人員を配置し、支援が必要な児童に合わせて職員が安全に配慮しながら支援を行ってまいります。
	4	7		衛生管理に配慮し、毎日児童の退所後に清掃、除菌を徹底しています。 また、活動内容に合わせ机・椅子を移動して、安全に過ごせるスペースの確保を行っています。	
業務改善	5	7		朝礼・昼礼時に、その日の業務連絡、療育内容の確認などの話し合いを行っています。 また、月2回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画など全職員が情報共有できるように努めています。	
	6	7		年に一度アンケートを実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげています。	
	7	7		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	8		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	7		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	
適切な支援の提供	10	7		定期的にアセスメントを実施し、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえ、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	11	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	12	7		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	
	13	7		個別支援計画を踏まえ、全職員が共通認識を持ち、支援に取り組んでいます。	
	14	7		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性に合わせたプログラムをチームで立案しています。	
	15	7		全職員で意見を出し合いながら、季節が感じられるような製作活動やイベントを取り入れて、固定化しないように工夫しています。	
	16	7		一人ひとりの特性に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	
	17	7		朝礼・昼礼時に、支援内容、役割分担の確認など、職員間で話し合い、情報共有を行っています。	
	18	7		支援終了後は送迎などで難しい面もあり、当日の支援の振り返りや気づいた点は、翌朝の朝礼時に、全職員で共有しています。	
	19	7		記録には支援内容だけでなく、その日の体調や様子、気づいた点や、気になることを合わせて記入し、職員間で情報共有し、支援の改善や検証に取り組んでいます。	
20	7		定期的にモニタリングを行い、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。		
関係機関や保護者との連携	21	7		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	7		関係機関と連携を図り、統一した支援がおこなえるように努めています。	
	23	7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	7		担当者会議を通して支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援が統一されるように努めています。	
	26	7		就学前の担当者会議を通して、支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるように努めています。	
	27	7		専門機関との連携に努め、情報交換、助言を受け、他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	
	28	7		現時点では、交流の機会はありません。	コロナウイルスの影響に配慮しつつ、保護者様のご意向をうかがいながら、交流の機会については検討してまいります。
	29	7		現在、協議会への参加はしておりません。	コロナウイルスの影響に配慮しつつ、協議会への参加を検討してまいります。
	30	7		連絡帳や送迎時、家庭連携などで保護者様との情報交換をおこない、児童の現状や課題について共通理解を深めています。	
保護者への説明責任等	31	7		送迎や家庭連携などの機会に保護者様のお悩みや困りごとをお聞きし、必要な支援方法をその都度お伝えするように努めています。	
	32	7		契約時は丁寧な説明を心がけ、質問や不明な点がないか確認しながら進めていき、また、療育上ご家庭の協力が必要な場合はご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	33	7		ガイドラインに基づいた支援計画を作成しています。 保護者様への支援計画の説明には、わかりやすい言葉を使って支援計画の同意を得ています。	
	34	7		家庭連携や送迎などでご相談を受けた際には、保護者様のお気持ちに寄り添いながら、必要な助言と支援を行っています。	
	35	7		今年度は、保護者会を実施できておりません。	コロナウイルスの影響に配慮しつつ、保護者様にご負担のないように配慮し、ニーズに応じて実施を検討してまいります。
	36	7		相談や申し入れがあった場合はすぐに職員間で話し合い、迅速に対応しています。 また、苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しています。	
	37	7		公式Webサイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。 また、年4回「COMPASSだより」を季刊発行しています。 連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真と共に分かりやすく事業所だよりとして、配布しております。	
	38	7		個人情報や重要書類などは、鍵付き書庫に保管しており、取扱いには十分に注意しております。 また、書類を廃棄する際は、シュレッダーを使用しています。 保護者様と契約時に結んだ同意書の条件以外では、決して個人情報漏れないように細心の注意を払っております。	
	39	7		児童とは一人ひとりに合わせた情報伝達ツールを用い、分かりやすく情報を伝達できるようにしております。 保護者様とは、日頃から、お互いの情報がスムーズに交換しあえるような関係性の構築に努めております。	
	40	7		今年度は、事業所のイベントに地域の方々を招待する機会はありませんでした。	コロナウイルスの影響に配慮しつつ、保護者様のご意向をうかがいながら、児童と地域住民の方々と一緒に参加できるような行事の企画を検討してまいります。
非常時等の対応	41	7		緊急時の対応マニュアルを作成しており、保護者様や職員にも見えやすい場所に掲示し周知しております。	
	42	7		年度初めに年間計画を立て、地震・火災・風水害・不審者への対応などの訓練を定期的実施しています。	
	43	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを使用して、状況の把握に努めています。 また、発作時の対応法など、保護者様より詳しくお聞きし、全職員に周知しています。	
	44	7		食物アレルギーのある児童については、保護者様と情報共有を行い、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	45	7		ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。 ファイルで保管し、事例は振り返りを行い、再発防止に努めています。	
	46	7		事業所に虐待防止責任者を選任しています。 また、定期的に職員研修を実施し、虐待防止への理解、意識向上に努めています。	
	47	7		利用契約書に原則として身体拘束の禁止が記載されており、現時点では該当者はいませんが、生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、保護者様の同意を得て支援計画に記載するようにしております。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。